

令和5年度第12回教育研究評議会議事要旨

日時 令和6年3月13日(水) 14時31分～15時11分

場所 第一会議室 (Zoom 併用)

出席者 24名

長谷山理事長、穴沢学長(議長)、米澤理事・事務局長、江頭副学長、鈴木副学長、片桐副学長、齋藤副学長、沼澤副学長、高橋保健管理センター所長、山田言語センター長、大津 CGS 教育支援部門長、プラート CGS グローカル教育部門長、平井経済学科長、石川商学科長、小倉企業法学科長、木村社会情報学科長、乙政現代商学専攻長、籾本アントレプレナーシップ専攻長、手島教授、中島教授、加賀田准教授、國武教授、加地教授、沼田教授

公欠者 4名

深田情報総合センター長、玉井 CGS 産学官連携推進部門長、西永一般教育系学科主任、クランキー教授

陪席者 3名

檜山監事、伊藤監事、佐藤監事

議事に先立ち、2月14日開催の令和5年度第11回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 教員の採用について

穴沢学長から、審議資料1に基づき、教員の採用について提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

承認後、穴沢学長から、採用手続きを進める旨発言があった。

議題2. 保健管理センター所長の選出について

穴沢学長から、保健管理センター所長の選出について、以下のとおり提案があった。

○保健管理センター所長 高橋 恭子教授の任期が、令和6年3月31日をもって満了することに伴い、小樽商科大学保健管理センター規程に基づき、次期所長を選出する。

○3月5日開催の学部・大学院合同教授会での審議結果を踏まえ、高橋教授にお願いしたい。

○なお、任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間となる。

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題3. 言語センター長の選出について

穴沢学長から、言語センター長の選出について、以下のとおり提案があった。

- 言語センター長 山田久就教授の任期が、令和6年3月31日をもって満了することに伴い、小樽商科大学言語センター規程に基づき、次期センター長を選出する。
- 3月5日開催の学部・大学院合同教授会での審議結果を踏まえ、尾形教授にお願いしたい。
- なお、任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間となる。

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題4. 情報総合センター長の選出について

穴沢学長から、情報総合センター長の選出について、以下のとおり提案があった。

- 情報総合センター長 深田秀実教授の任期が、令和6年3月31日をもって満了することに伴い、小樽商科大学情報総合センター規程に基づき、次期センター長を選出する。
- 3月5日開催の学部・大学院合同教授会での審議結果を踏まえ、深田教授にお願いしたい。
- なお、任期は令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間となる。

提案後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

議題5. グローカル戦略推進センター各部門長の選出について

穴沢学長から、審議資料5に基づき、グローカル戦略推進センター各部門長の選出について提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題6. 学科長・学科主任の選出について

穴沢学長から、審議資料6に基づき、学科長・学科主任の選出について提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

議題7. 事務組織改組（研究・社会連携推進室の設置）に係る規程の一部改正（案）について

穴沢学長から、令和6年4月の事務組織改組（企画総務課に研究・社会連携推進室を設置）により、一部業務の担当部署が変更となることから9件の関係規程の改正（案）について、審議資料7に基づき提案があり、企画総務課長から説明があった後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項8. 小樽商科大学出版会規程の一部改正（案）について

審議事項9. 小樽商科大学研究報告規程の一部改正（案）について

審議事項10. 小樽商科大学附属図書館運営委員会規程の一部改正（案）について

審議事項8・9・10は、関連した事項であるため、併せて審議が行われた。

江頭副学長から、令和6年4月の事務組織改組に伴い、出版会・紀要関係業務が研究支援部門運営会議から附属図書館運営委員会に移管することとなるため、3件の関係規程の改正（案）について提案があり、学術情報課長から説明があった後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項 11. 小樽商科大学グローバル戦略推進センター教学 IR 室規程の一部改正（案）について

審議事項 12. 小樽商科大学グローバル戦略推進センター規程の一部改正（案）について

審議事項 11、12 は、関連した事項であるため、併せて審議が行われた。

穴沢学長（グローバル戦略推進センター長）から、本学の更なる発展に資するよう、IR 機能を教学のみならず、研究及び財務・経営も含めた大学全体へ拡充するため、令和6年4月1日付でグローバル戦略推進センター教学 IR 室を「グローバル戦略推進センターIR 室」へ改組することとした旨の説明があり、それに伴う2件の規程の改正（案）について、提案があった。

続けて、企画総務課長から説明があった後、審議が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項 13. 小樽商科大学 DX 推進室規程の制定（案）について

審議事項 14. 小樽商科大学組織・運営規程の一部改正（案）について

審議事項 13、14 は、関連した事項であるため、併せて審議が行われた。

穴沢学長から、本本学全体の DX を推進するための全学的組織として、学長の下に令和6年4月1日付で「DX 推進室」を設置することとした旨の説明があり、それに伴う規程の制定（案）及び一部改正（案）について、提案があった。

続けて、企画総務課長から説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項 15. 特認教授及び特認准教授称号付与について

江頭副学長（全学人事委員会委員長）から、特任教授及び特認准教授の称号の付与について、審議資料 15 に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

審議事項 16. 小樽商科大学特認教授及び特認准教授称号付与規程の一部改正（案）について

江頭副学長（全学人事委員会委員長）から、審議資料 16 に基づき、小樽商科大学特認教授及び特認准教授称号付与規程の一部改正（案）について諮られ、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項 1. 履歴書（教員公募用）様式の改定について

穴沢学長から、報告資料 1 に基づき、履歴書（教員公募用）様式の改定について報告があった。

○次回開催について

来年度から、教育研究評議会は原則対面で開催とする。

次回の教育研究評議会は、4月17日（水）14：30に開催する予定である。

以 上